



退任教授「在任中の思い出」・・・ 2～3
抱負を語る / 移転のお知らせ・・・ 4
医 8 期生卒後 20 年同期会・・・ 5
医 18 期生卒後 10 年同期会・・・ 6

役員改選公示・・・ 7
看 7 期生卒後 5 年同期会・・・ 8
看護学科交流懇談会・・・ 9
LITTLE WINDOW・・・ 10

■ 役員改選

2009年度は役員改選の年にあたり、役員選出規程に沿って選挙の公示をいたしました。
<http://www.koikai.org>にも掲載しております。

(関連記事7頁)

■「西医体・西コメ等」応援キャンペーンが始まります!

暑い、熱い夏!!
昨年からはまった「西医体」応援キャンペーンが、今年も始まります。
多数の応募をお待ちしております。
応募方法は、<http://www.koikia.org> または、10頁をご覧ください。

■「湖医会」事務局が移転しました

2009年4月より事務局が、
クリエイティブ モチベーションセンターに移転しました。



(関連記事4頁)

■メールアドレスをお知らせください

会員への情報提供は、メールで連絡する機会が多くなっています。
まだ「湖医会」に登録されていない方 koikia@koikai.org に
アドレスをご連絡ください。

在任中の思い出

当外れ大はずれ

滋賀医科大学 生活習慣病予防センター 特任教授

上島 弘嗣



世の中、思うように行かないことは、これまでに多々経験して来たので多少のことでは驚かないし、落ち着きを失うことはない。しかし、体力は齢を重ねると共に劣ることは確実であり、この歳になって、週 2 回の東京往復はきついが、それがこのところの現実となり、いささかうんざりしている。

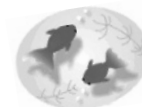
3 月末で定年となり、さあ自由度が増すぞ、と思ったのであるが、しくじった。4 月以降の予定に、授業の義務と学務・委員会等の義務が一切なくなるので、頼まれ仕事を気前よく二つ返事を重ねた付けが回ってきている。その結果として、4 月から 6 月は自宅に「宿泊」することの方が少なくなってしまった。

このような状況で、退職の挨拶に書いた、「湯治場への行脚」は当面、お預けである。外泊してはメールを点検する日が続くが、メールでの連絡、仕事の依頼は、容赦ない攻撃とも取れるほどに油断するとたまってしまい、整理する気力が失せる。正に、文明の利器は凶器である。

そのようなことで、大学の 2 階にある私の新しい部屋には、このところご無沙汰しているので、近隣の方には、気楽な身分と

思われているかもしれない。いやきっと思われているであろう。幸か不幸か、3 年間の科研費を得たが、これも、考えようによっては、自分で勝手に仕事を増やしてしまったとも思える。文部科研の制度不備で、主任研究者、分担研究者には直接経費を給与として支出できないので、下手をするとただ働きになってしまう。間接経費は給与に充当しても差し支えないが、これだけでは研究環境が整っているとはいえない。先日、科研費のヒアリングの際にそのことを文部科学省に伝えたが、皆さんよく認識されていないようであった。

しかし、何だかんだ言っても、忙しい間は役割があって感謝しなければならないのであろう。当面、ばたばた騒ぎは続きそうである。



組織は人なり

前薬剤部 教授

山路 昭

このたび、3 月末日をもって滋賀医科大学を定年退職いたしました。1992 年 9 月から約 16 年半、薬剤部に勤務いたしましたが、娘も 1996 年の医学科卒業生で親子 2 代にわたってお世話になったこととなります。

教育面では医学科、看護学科の講義と病院薬剤部の臨床実習を担当し、薬物療法の基礎と臨床を通して、その重要性や問題点を教育、指導してきました。特に昨今では医薬品に関する医療事故や薬害が大きな社会問題となっており、薬のプラス面とマイナス面を熟知した「医薬品の適正使用」の重要性が求められています。

私は在任中、附属病院の薬剤部長を併任しておりましたので、特に薬剤部内・病院内における医薬品にからむ医療事故をいかに防止するかを常に意識しておりました。処方オーダーでのチェックシステムや調剤監査システム、患者への誤投薬の防止システムなど IT 化による医療安全対策は大きな進歩を遂げておりますが、最終的にはやはりいかにしてヒューマンエラーを少なくするかに尽きると思います。

「組織は人なり」という言葉がありますが、たとえばわれわれ

の医療機関なら、医師、看護師、薬剤師、臨床検査技師、事務職員などにより組織が構成されています。多種多様な能力や適性を持つ多くの人材が集まって組織を形成し、各人がその能力や適性に応じた役割を分担・協働することがチーム医療の実践であり、より高度な医療の提供と医療安全対策にもつながるものと思われま

す。従来薬剤部内で止まっていた薬剤師の仕事も病棟薬剤師活動へと発展させ専門薬剤師として化学療法、NST、ICT、緩和医療などのチーム医療にも積極的に参加するようになりました。また人が組織を作り、組織が人を作るという「人材育成サイクル」により多くの若い医療人が育ったと感じております。

同窓生の皆さま方もそれぞれの組織の構成メンバーとしてさらなるご活躍を祈念いたします。



無事定年退職しました

前基礎看護学講座解剖生理学部門 教授
今本 喜久子



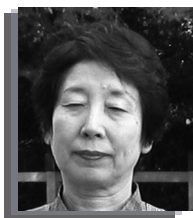
本年3月31日、医学科と看護学科に計33年間在職して滋賀医大を無事定年退職いたしました。卒業式の日、同窓会主催の祝賀会を待っていると、渡辺一良会長から「先生長い間ご苦勞様でした。「湖医会」からご退任のお祝いです。」と挨拶を受けてお祝い金を頂戴しました。定年で大学を去るのに、思いがけずねぎらいの言葉をいただき胸が熱くなりました。遅くなりましたが、この場をお借りして同窓会の皆様にお礼申し上げます。

さて、この原稿は「在任中の思い出」ということで同窓会事務局より依頼されました。私の在任は期間ばかり長くて、先輩の先生方のように誇れる成果を残すことが出来ませんでした。しかし、両学科の創設期を経験できたことは私にとってはとても幸せなことでした。何もかも新しく経験することでしたので、未熟で力不足ながら目の前の課題には一生懸命取り組もうと努力してきたつもりです。思い入ればかり強くて、事が成就するよりもむしろ失敗に終わることが多かったのですが、退職した今は諸々の喜怒哀楽の思い出全てが懐かしいものです。数多くの思い出に恵まれたので、それらを時には思い出して若かりし頃の感

傷に浸ることがこれから先の老いの日々にあるかもしれません。

4月からは毎日が日曜日の筈ですが、近くに住む95歳の父と共にする三度の食事の用意や、家族に仲間入りしたトイブードルのコロちゃんの子育て、そして健康維持のために南草津駅前のピバスポーツアカデミーに通い始めたことで、早朝から夜遅くまで結構時間に追われています。ピバではシルバー世代にすんなり仲間入りして、朝9時30分からの初心者向けのヨガやエアロビクスの軽いプログラムに参加して体調を整え、大風呂で汗を流す年金生活者に相応しい贅沢に満足しています。

時はどんどん流れます。自分が滋賀医大史の創設期の中に身を置いていた事実を誇りにして、それに恥ずかしくない生き方をしながら、卒業生の活躍ぶりを見守りたいと思います。



看護とともに生きて

前臨床看護学講座 教授

玉里 八重子

尾道からはるばる京都で学び働いて、早48年が過ぎました。当初は私も周囲も最後まで看護とともに生きるとはとても思っていませんでした。しかし、半世紀を看護とともに私も家族も生きることができました。のんびりした瀬戸内の暮らしから、京都という大都会で青春を私なりに謳歌し、自分の環境を受け入れつつ、喜びや悲しみを噛みしめてきました。私たちが学生のころ痛く思った看護の自律が、今では、姿を現し、市民権を得てきています。かって、看護の実践の場で、全身で向きあって格闘したこと、夜勤のけだるいあの全身の感覚、それらは自分の限界との戦いとして重く、それゆえの充実感を得る世界だったと思います。40才後半で病院勤務から教育に携わるようになり、ちょうど、その頃、日本では本格的に看護教育の大学化へのスタートが切られました。そこでは、看護を言葉で語り、説明ができること、それが教育に携わるものとして求められます。それは、看護の事象を論理的に構築するには、現在の学問体系によるトレ

ーニングの必要を意味します。

医学も関連領域もこの半世紀にとてつもなく進んでいます。看護学は体系化され、研究分野においても発展してきました。私は、医学も看護も実践を見据えた学問であり、人々の健康に貢献できることがとても素晴らしいことと思います。現在の医療の抱える諸課題が、より良い医療・看護・福祉を担う若い人々を過度に疲弊させないことを祈ってやみません。

最後になりましたが、微力な私をお支えいただきました滋賀医科大学の学長先生はじめ諸先生方、事務の方々、同窓会の皆様、滋賀県の助産師・看護師の諸姉の方々に深く感謝申し上げます。



学校法人兵庫医科大学 兵庫医療大学薬学部医療薬学科 教授

安屋敷和秀 (医3期生)



2009年4月1日付けで兵庫医療大学薬学部教授として着任し、薬理学(循環器系など)を担当することになりました。

1983年滋賀医科大学を卒業後、当時高橋三郎教授(現在名誉教授)が主宰されていた同大学精神医学教室に入局しました。卒業後3年目から老年科と精神科を併設した瀬田川病院(当時青木泰亮院長、現在青木直亮院長)に勤務させて頂きました。同病院での勤務を通じて脳血管障害による認知症に興味をもち、卒業後5年目から当時戸田昇教授(現在名誉教授)の主宰されていた滋賀医科大学薬理学教室で大学院生として研究を始めました。教室のテーマであった「血管を拡張させる神経伝達物質の解明」に関する実験に参加し、「血管は一酸化窒素(NO)作動性神経によって拡張性に調節されている」との従来の神経伝達物質の概念を覆す発見に立ち会いました。この発見に魅了され現在岡村富夫教授が主宰されている同教室で教育・研究の道を選び准教授となりました。また、大学院時代から兼

業させて頂いた滋賀里病院(当時端宣夫院長[故人]、現在栗本藤基院長)のもとでは精神科の臨床を実践しながら若手医師の臨床指導を続けてきました。これまでの滋賀医科大学と関連病院での勤務経験やお世話になった先生方の有形・無形の教えは、私を大いに成長させてくれました。大変感謝しております。

近年、習得すべき医学・医療に関する知識と技術は膨大となり急速に進歩しています。このため、医療従事者はその職分を問わず生涯、知識・技術ならびに誠実で優しい心を高め続けなければなりません。また、今後の医療に対応するには、医師、看護師、薬剤師、理学療法士などが情報を共有し連携して医療に従事することが必要となっています。新しく着任した兵庫医療大学は神戸ポートアイランドに位置し、兵庫医科大学との強い連携のもと薬学部・看護学部・リハビリテーション学部の3学部で構成されています。本大学は「チーム医療の担い手の育成」を目指しています。私は、医師としてまた薬理学を担

当する教育者として、「くすりとかからだ」の関係を医療現場での経験を交えながら解りやすく学生に教育してゆきます。兵庫医療大学における教育を通じて、急速に進歩する医療に対応できる個々人の能力を高めてゆくとともにチームの一員として医療に従事できる協調性の高い人材を育成し、社会へ輩出したいと切望しております。研究面では、熱い情熱とともに地道な努力を重ねて、生体内におけるNOの生理学的ならびに病態生理学的意義を一層解明することで、研究を始める動機となった脳循環障害や認知症などの疾病に対する新しい治療薬開発に寄与したいと願っております。

これからも皆様のご指導のほどよろしくお願い申し上げます。

移転のお知らせ

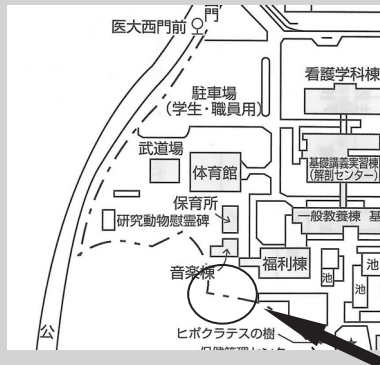
2009年4月6日(月)、クリエイティブ モチベーションセンター(以下CMC)が福利棟学食横に新設され開所しました。

主に、文化系クラブが、より充実した活動を行えるための総合的な拠点を構築することを目的に建てられたものです。

そして大学のご厚意によりその中の一室を「湖医会」事務局にご提供いただきました。しゃくなげ会・ボランティア協議会とも同居です。

このCMCへの、出入りには磁気カードが必要です。カードを持たない方のために、入り口にはインターホンが設置されています。利用者は、学生さんが主ですが、小ホールもあり、ミニコンサートや講演会に最適だと思います。ご利用に関しては、学生課にお問い合わせください。

新しい事務局が、卒業生・在学生・しゃくなげ会・ボランティア連協等の交流の拠点となればと思います。是非一度新事務局をお尋ねください。



クリエイティブモチベーションセンター



新「湖医会」事務局



わずか9か月の担任でしたが

2学年担任 名誉教授

安藤 喬志

2009年3月14日琵琶湖ホテルで開催された医学科8期生の卒後20年同期会に招かれ、嬉しく出席しました。卒後10年の会には出席できませんでしたが、多くの諸君とは卒業式以来20年ぶりとなり、さて皆さんがちゃんと思い出せるだろうかと不安を抱えながら参りました。ところが会が始まり皆さん一人ずつの近況報告が始まると、それぞれ私が接した頃の雰囲気をそのまま持っておられることに気づかされ、私もどっぶり回顧の想いに浸ることとなりました。

そもそも8期生の諸君は、私が滋賀医大へ着任していきなり担任を命ぜられた学年で、しかも当日の会にもご出席された前任の今村詮先生のあとを継いだ2学年の9か月だけのご縁であったにもかかわらず、人懐かしくて個性豊かな、私にとってもっとも印象深い方々でありました。またそれまで研究一途であった私が大学教育について学ばせて頂いた学年でもありました。

考えてみますと卒後20年という年代は丁度当時の私とほぼ同じ年頃であり、私のささやかな経験に当てはめてみても、これからの20年は人生の収穫の時期に当たります。8期生諸君が今後の人生でできる限り大きな収穫を得て行かれますよう、心からお祈り申し上げます。



卒後20年同期会参加報告

石塚医院 小児科

石塚 千恵

51名が参加しました。今村先生の開会のお言葉、天方先生の乾杯の首頭で幕開けです。土井田先生(楽しかった生物実習!)、安藤先生「大学で君たち8期生を迎えたのは、私が46歳のころ」、なんと今まさにその年齢に近いわたしたち・・・でも会って話せば、すぐもとの同級生です。皆、いつのまにか崩壊が叫ばれる医療現場で、地域で、そして家庭で、中心の立場となり、奮闘する姿が、1人1人の話から浮かび上がってきます。生活習慣病での患者体験武勇伝(?)も聞かれました(みなさん、気をつけましょうね)。

8期生は、女性20名。当時は多い、と驚かれた学年です。ただ女性でというより、最終学年まで続けたクラブ活動や、趣味の医大外周ランニング etc. と、どちらかというと体力面で目立っていました。その気力・体力こそが現8期の力の源。いろんなことを乗り越えてきたに違いない、でもやっぱり口に出るのは前向きな言葉、それにとっても力づけられました。出席できて本当によ

卒後20年 同期会 医学科 8期生



かったです。

「これからもがんばっていこう!」と、万歳三唱で同期会は幕を閉じました。お忙しい中、参加くださった先生方、幹事・「湖医会」のみなさま、8期生を育て、支えてくださった全ての人に心から感謝です。10年後には是非また元気で、お会いしましょう!

変わらないもの

細田内科医院



細田 友則

2009年3月14日に8期生の卒後20年同期会が開催されました。昭和最後の63年に卒業してから20年の月日が経ち、スクリーンに映し出された20年前の写真を前にスピーチする同級生や各テーブルで談笑する姿を見ていると、外見は随分と変わったなと思う反面、話し出すとやはり当時と変わらない人となり、垣間見られ、さながら国試の勉強会の様な雰囲気すら感じられました。

当日配布された同期生たちの近況を読むと、日本全国で頑張っている姿や、この20年間の知らなかった出来事が記されていて、悲喜こももも人に歴史ありと感慨深いものがありました。人は変わって行く様で変わらないものであり、そして変えようとしてもなかなか変えられないものだといまさらながら実感しました。日々の診療や用事に追われ、振り返って考える暇も無く過ごしている中で、今回の同期会はタイムカプセルのように20年前の原点を思い起こさせてくれるものでした。

年齢的には現役組でも45歳を超え、体力の低下や生活習慣病が出てくる人もそろそろいるかもしれません。幸い8期生は全員健在のことと思いますが、社会的にますます重責を担うポジションになり、これからは自身の健康の維持が大きな課題になってくると思います。次回の同期会にも元気な顔を見せられるよう皆様も健康にご自愛ください。



卒後10年 同期会 医学科 18期生

医18期生卒後10年同期会に参加して

滋賀医大附属病院 放射線科

津川 拓也

去る2009年2月14日夕刻より、医学科18期生卒後10年の同期会を琵琶湖ホテルにて行いました。自分が幹事だったので、皆が楽しく話が出来ればいいかというぐらいに考えており、凝った進行などは何も考えていませんでした。

当日は3月下旬ぐらいの陽気で、会の始まる前にホテルから見た湖岸の景色もいい風情でした。最終的に、忙しいながらも36名の同窓生が集まり近況報告などいろいろ話をする事が出来ました。10年たった姿を見てもあまり昔とイメージが変わる人はなく、ずいぶん会ってなくても何の違和感もなく話が出来ました。お子さんを連れてこられた人もいて、この間に10年たったのだと改めて実感しました。来れなかった方も大勢いましたが、同期会が出来て本当に楽しい時間を過ごすことが出来ました。これも同期会をするに当たって御助力いただいた「湖医会」の方々や当日御手伝いしてくださった学生の皆さまのおかげと考えます。本当にありがとうございました。当日の会費として集めたお金のうち残った分は、「湖医会」の活動費や学生への奨学金へ当てさせていただくことといたしました。

もう10年たてば、卒後20年同期会を行いたいと考えております。きっとその時には皆さんずいぶん印象も変わってるのではないかと考えています。ぜひ10年後、集まりましょう。楽しい話が出ることを期待しています。



(左:津川先生、右:山根先生)

変わっているようで、変わらないもの

滋賀医大附属病院 救急集中治療部

山根 哲信

10年という時間は長くもあり、短くもあります。気がつけば入学してから卒業するまでの6年間より長い時間がたっているはずなのに、同期の皆さんに久しぶりに会ってもさほど違和感はありませんでした。懐かしくもありながら、つい数日前に会ったばかりのような、不思議な感じでした。

皆さんの近況報告を聞いていますと仕事の順調な方、苦勞されている方、楽しんでいる方など様々でしたが、やはり、10年の間にそれぞれが歩んできた確かな足跡を感じることができました。皆さんがそれぞれの立場やステージでバージョンアップされているのを感じました。うれしくもあり、励みにもなりました。そんな感じで皆さん変わってしまっているはずなのに、なぜか基本的にはみんな変わってないなあ、という印象でした。変わっているようで、変わっていない。恐らく、皆さんお互いにそのような感じていたのではないかと思います。変わらないのは皆さんのスピリットというべきか、マインドというべきか、気合というか、心というか……。そのような、言葉で表現しにくい“何か”をそれぞれ持っており、それはみんな学生のときから変わっていないように思いました。それゆえに、それぞれが他施設にあっても遠方にあっても、学生のときのように同期としていつまでもつながっていけるような気がします。次の10年もバージョンアップしつつ、変わらない皆さんであってほしいと思います。そして、今回出席できなかった方も次回にはより多く参加していただき、さらに盛大な会になることを期待しています。そんなことを感じながら、嶋岡君と白石(鈴木)さんを思いつつ過ごすひと時でした。

最後に、幹事として準備の足りなかった点もあり、大変申し訳ありませんでした。また、同期会の開催に当たっては「湖医会」事務局の方々、学生のみなさんに厚くお礼申し上げます。本当にありがとうございました。

「湖医会」役員選挙公示

「湖医会」正会員の皆様へ

選挙管理委員会は、「湖医会」会則及び「湖医会」役員選出規程の各規定に基づき、任期満了に伴う「湖医会」次期役員選挙を下記のとおり行うことを公示します。

記

1. 改選役員
会長 1名
副会長 若干名
幹事 各卒業年度より若干名、及び特に立候補する者
監査役 若干名
2. 任期 2年（平成21年総会～平成23年総会）
3. 立候補資格 「湖医会」正会員であること（ただし学生会員は除く）
監査役は、正会員以外の会員も可
4. 投票資格 「湖医会」正会員（ただし学生会員は除く）
5. 選出スケジュール
 - (1) 立候補受付 平成21年5月21日（公示日）～2ヵ月間
所定の『「湖医会」役員立候補届』により選挙管理委員会に届け出る
 - (2) 立候補者情報開示 受付後、総会1ヶ月前までに開示する
 - (3) 選出 同10月24日 「湖医会」総会において行う

※ 自薦・他薦を問わず広く多数の立候補を募ります
立候補手続きの詳細は、「湖医会」事務局までお問い合わせ下さい。

以上

平成21年5月21日

「湖医会」選挙管理委員会代表代行 茶野 徳宏

「湖医会」事務局 TEL: 077-548-2074
FAX: 077-548-2094
Mail: koilai@koikai.org



「看護学科卒後5年同期会に出席して」

岐阜県立看護大学看護学部 泊 祐子

顔を見たら学生時代みんなが思い浮かびますが、でも大人になった頼もしさを感じました。それは看護職としてしっかりと働いた証でしょうか。

5年小児看護の臨床をしたから、養護教諭として働きたいという希望を持っている人、助産師として働いたけども、健康の増進にかかわりたいから健康教育をする機関に異動した人もいました。2年間のんびりした病院で働いたので、救急看護がしくて今の職場に移ったと報告してくれた方もおり、自分のしたい仕事を見極めている皆様の賢さをすごく感じました。大学院に進学した人や、すでに大学院を終えた人もいて、それぞれに研鑽を積んでいることがわかりました。

今回は乳児をだっこして参加してくれた卒業生も3人おり、より一層和やかでしたね。育児休暇を取っている方、一時休憩している方もいましたが、やはり仕事がしたいと思ってくれて嬉しかったです。それぞれの生き方をしっかりと歩んでいる姿に嬉しく思いました。自分の職業にアイデンティティをもち、みんなが看護に誇りを持っていて感じて本当に嬉しかったです。嬉しかったばかりだが、皆様にお会いできて良かったです。

高度医療やコストパフォーマンス、医師不足など様々な理由から、社会的にも看護職に期待される内容は増えています。特に専門看護師CNSの役割と機能は四年制卒の皆様に期待されています。滋賀医大は、1993年に21校しかなかった看護系大学の22校目として、名乗りを上げました。今では150校を数えるが、卒業生を10年出している滋賀医大、その卒業生の皆様への期待は大きい。私も期待しています。

今回おいでになれなかった方も卒後10年同期会ではお会いしましょうね。

皆様のご健康とご活躍をいつもお祈りしています。



「卒後5年目を迎えて」

守山市すこやかセンター 上田 恭子

2009年3月1日、懐かしい顔がそろって滋賀医科大学看護学科7期生の同期会が京都で開かれました。最初に幹事さんから連絡をもらったときから、「みんなに会える！」というわくわくとした気持ちで一杯で、みんなどんなふうになっているのかな、何人くらい参加するだろうかと、とても楽しみにしていました。

そして迎えた同期会当日。少し緊張するような心持でお店のドアを開けると、懐かしい友人たちの顔、顔、顔。卒業後初めて再会する友人もいましたが、あっという間に学生時代に戻って、会話に花が咲き、ワイワイガヤガヤと笑い声で一杯の会場になりました。入学時の写真をスライドで写しながらの近況報告では、卒業後にそれぞれの道を力強く歩んでいると感じました。看護師や助産師、養護教諭や保健師として頑張っている人、主婦としてママとして家庭を守っている人、大学院に進んでいる人、海外に旅立つ人、転職している人。5年という歳月のなかで、悩みや迷いをもちながらもそれぞれの道をしっかりと進んでいる同期たちをみて、私も頑張ろう、と勇気づけられました。

就職して5年経ち、仕事では初任期とは違う役割を求められ、プライベートでは結婚や出産などのライフイベントを迎える転機の時節に、学生時代を共にした仲間と再会する機会を与えていただけたことに感謝します。そしてまた、卒後10年に、さらに成長したみんなに会えることを楽しみにしています。

最後になりましたが、お忙しいなか来て頂きました大町先生、泊先生、連絡や当日の受付まで引き受けていただきました「湖医会」事務局の皆さん、たくさんの連絡や手配をしていただきました幹事さん、楽しく有意義な時間を作っていただき、ありがとうございました。

「卒後5年同期会に参加して」

野洲病院
産婦人科病棟 助産師

木越 郁恵



2009年3月、卒後5年同期会が開かれ、たくさんのメンバーが参加し、懐かしい顔に会うことができました。

5年ぶりに会う友人もいましたが、すぐにワイワイガヤガヤ。しかし、一人ずつ近況報告をするなかで、やはり5年という月日を感じました。病院では中堅とよばれ、日々の業務だけでなく新人教育も担っている人、保健師として市町村の大きな事業に携わっている人、養護教諭として子供たちと必死に向き合っている人、結婚をして主婦となり、お母さんとなり、家庭を守っている人、看護師からその他の業種に転職し、新たな環境でがんばっている人、大学院に入り勉強している人…。いろいろな環境のなかでみんな本当ががんばっているんだなと思いました。私はといえば、滋賀医大卒業後、助産専攻科にいき、助産師として働いて4年になりました。この4年、同じ病院に勤務し、さほど状況が変わっていなかった私。成長できているのかどうか不安に思うこの頃でした。一方で、自分の興味ややりたいことがはっきりとし、忙しさのなかにも充実感を感じられるようになっていました。今回みんなの話を聞いて、自分の興味に向かって積極的に進む力をもらえたように思います。私たちのしている仕事は選択肢がたくさんあり、そのなかで自分のやりたいことを見つけるのは大変ですが、新たな環境のなかでも今の環境のなかでも成長していけるようがんばりたいと思える一日となりました。

次の同期会はまた5年後。いろんな形でみんなも私も成長していきますように。でも今回同様、学生時代の感覚で話に花が咲くことでしょう。

第9回

看護学科

卒業生と
在学生の

交流懇談会を終えて

この企画は「湖医会」がサポートしています…

看護学科生の進路の参考になればと企画された「卒業生と在校生」の貴重な『交流の場』。3回生が主体となり、2月21日(土)に交流懇談会が行われました。いろんな分野で活躍する先輩達が参加してくれて、「看護学科の輪」が広がっています。その輪の様子を紹介します!



交流会に参加して

滋賀医科大学附属病院3C病棟勤務

吉田 和寛 (看7期生)

2月21日に看護学科3回生との交流懇談会に参加させていただき、これから就職活動や国家試験を迎える学生さんを前にお話させていただきました。

お話しする直前に「私が学生さん達に伝えられることってなんだろう…」と考えてしまい、用意していた内容を急遽変更し、看護師としての『一年目の大事さ』と『環境』についてお話させていただきました。諸先輩方や私の話を通して、彼等の就職活動の中で、現代の超ストレス社会を乗り越えていくために「環境」を意識した選択がなされれば幸いに思います。私自身も先輩方のお話を聞いたり、学生さんの思いを聞くことができたりした結果、彼等を迎えられるよう、少しでもストレスが緩和されるよう環境を整えておく必要性を強く感じるようにもなりました。

交流会に参加し、自分の今後の活動、進路について考える良いきっかけになったと思います。彼等と共に働くことができる日を心待ちにしています。ありがとうございました。



“先輩が経験談をスピーチ”



“たくさんの卒業生の皆さんが参加してくれました”

交流懇談会に参加して

磯野 佳衣 (看3回生)

看護学科交流懇談会に参加し、卒業生の様々なお話を聴かせていただくことができました。

もうすぐ4回生となるこの時期、私たちの多くは就職先について、どうやって探して決めたらいいのかという漠然とした疑問や不安を抱えております。卒業1年目の方からは、どのように就職先を決められたのか、また現在の状況などのお話を伺うことができました。卒業されて数年の方からは、ご自身の経験をお話していただきました。そのなかで、学ぶことはたくさんありましたが、一つには、同級生や同僚、先生方、職場の方々とのつながりがいかに大切かということを知ることができたと思います。

交流懇談会は、現在活躍されている方のお話を聞くよい機会だと思います。後輩の皆さんにも是非この会を継続し、多くの方に参加していただきたいと思います。

卒業生の方をはじめ、ご協力いただきましたの方々ありがとうございました。



“スタッフのみなさん”



“各分野に分かれて交流会”



第61回「西医体・西コメ等」応援キャンペーン応募方法

- 1, 一口・・・¥3,000
- 2, 振込先・・・びわこ銀行草津南支店
店番号 213
普通 口座番号 579431
滋賀医科大学同窓会、湖医会学生サポート
- 3, 申し込み・・・koikai@koikai.orgに下記■の項目をご記入のうえお申し込みください!
■口数、ご自身の氏名・期生・勤務先、差し入れてあげたいクラブをお知らせください。
- 4, 締切・・・7月21日(火) <http://www.koikai.org/> にも掲載しております



(シール例)

ご寄付のお礼

医学科8期生有志/医学科18期生有志
看護学科7期生有志

同期会の余剰金を「湖医会」奨学金と一部を事務局の備品等の購入に充当させていただきました。



ありがとうございました。厚くお礼申し上げます。

ご案内

第11回 関東支部会のご案内

- 1, 日時: 8月29日(土) 午後6時30分
- 2, 開場: 品川プリンスホテル「品川大飯店」
tel 03-3440-1111
- 3, 講演: 東邦大学医療センター佐倉病院内科教授
鈴木康夫氏(医1期生)
演題「炎症性腸疾患の診療進歩 -病態解明治療のbreak-throughをめざして-」
終了後懇親会
- 5, 研修医・看護学科卒業生・学生は無料



管弦楽団よりお礼

6月20日(土)に栗東芸術文化会館さくら大ホールにて第50回定期演奏会を開催いたしました。
梅雨空の天気でしたが開演までは雨も降らず、約700名という過去最多のお客さまにお越しいただき、ホールはほぼ満席の状態になりました。本番ではその喜びを胸に皆で演奏し、半年間の練習の成果をお見せすることができたと思います。当日は馬場学長や服部副学長、顧問の三ッ浪先生をはじめ多くの大学関係者の方々におこしいただき、管弦楽団が皆様のご支援のもとで、そして人と人とのつながりの中で活動していることを部員一同改めて実感いたしました。
次回以降も半年に1回のペースで定期演奏会を開催してまいりますので、これからもよろしくお願いたします。

ワンダーフォーゲル部OB会開催のご案内

日時 ; 平成21年10月3日(土)17時~(2時間程度の予定)
場所 ; クサツエストピアホテル2F「瑞祥の間」
(変更の可能性あり)
TEL 077-566-3333
*「記念文集」発行予定→寄稿文募集中!! 締め切り;7月末日
連絡先 ; 主将 多賀谷允
ds110632@belle.shiga-med.ac.jp

ご協賛
ありがとう
ございます

第61回「西医体・西コメ等」競技日程予定

- ☆硬式テニス(兵庫県-神鍋高原グラウンド)..... 8/4~8/11
- ☆ソフトテニス(長崎県立総合運動公園かきどまり庭球場)..... 8/4~8/6
- ☆サッカー(沖縄県総合運動公園など)..... 8/5~8/10
- ☆準硬式野球(沖縄県-宜野座市野球場など)..... 8/3~8/8
- ☆バスケットボール(沖縄県-21世紀の森体育館など)..... 8/7~8/9
- ☆バレーボール(沖縄県総合運動公園体育館など)..... 8/10~8/12
- ☆バドミントン(那覇市民体育館など)..... 8/4~8/6
- ☆弓道(長崎県立総合運動公園アリーナかぶとがに)..... 8/3~8/5
- ☆柔道(山口県-維新100年記念講演スポーツ文化センター)..... 8/3
- ☆卓球(福岡市民体育館)..... 8/3~8/5
- ☆ボート(熊本県-菊池市班蛇湖ボート場)..... 8/7~8/9
- ☆陸上(沖縄市陸上競技場)..... 8/9~8/10
- ☆ヨット(宮崎県-大堂津ヨットハーバー)..... 8/6~8/9
- ☆水泳(宮崎県総合運動公園)..... 8/7~8/9
- ☆合気道(福岡県-アクション福岡)..... 8/7
- ☆空手道(沖縄県立奥武山総合運動公園武道館アリーナ)..... 8/1~8/2
- ☆剣道(福岡県-粕屋総合体育館)..... 8/8~8/9
- ☆ハンドボール(鹿児島アリーナ)..... 8/3~8/5
- ☆ラグビー(兵庫県-神鍋高原グラウンド)..... 8/1~8/11
- ☆ゴルフ(福岡カンツリー倶楽部和白コース)..... 8/6~8/7

注意:この競技日程は2009年5月9日現在のものです!

平成20年版同窓会会員名簿の訂正とお詫び

平成20年版会員名簿に下記誤りがありました。関係各位に謹んでお詫びし、訂正させていただきます。



- 13頁(上から3段目) 埴田和史(4期生) → (3期生)
- 311頁(左列) 赤澤千春・医11 218 → 院平11 218
- 314頁(左列) 井上慎二・医6 217 → 院平6 217
- 318頁(右列) 尾本由美子・医6 217 → 院平6 217
- 318頁(右列) 香川由美子・医11 218 → 院平11 218
- 322頁(右列) 熊谷仁見・医15 217 → 院平15 217
- 329頁(右列) 竹村淳子・医16 218 → 院平16 218
- 329頁(右列) 立入利晴・医3 217 → 院平3 217
- 330頁(中列) 田中成浩・医12 217 → 院平12 217
- 331頁(中列) 辻本哲士・医3 217 → 院平3 217
- 337頁(左列) 早川岳人・医12 217 → 院平12 217
- 340頁(中列) 本郷美代子・医15 218 → 院平15 218
- 341頁(左列) 松田明子・医13 218 → 院平13 218
- 346頁(中列) 横山慶一・医7 217 → 院平7 217
- 347頁(左列) 米田照美・医13 218 → 院平13 218

サノフィ・アベンティス株式会社